

# 悪性脳腫瘍患者の QOL・うつ病自己評価尺度と臨床像の相関に関する研究

(第 2.1 版 2023.7.5 作成)

## 1. 研究の対象

2011 年 4 月 1 日～2030 年 12 月 31 日に、脳脊髄腫瘍科で治療を行い、問診票として自己記入式の QOL 調査 (EORTC QLQ-C30/BN-20) とうつ病自己評価尺度 (つらさと指標の寒暖計) を行った症例。

## 2. 研究目的・方法

脳脊髄腫瘍科で治療を行っている神経膠腫・中枢神経系悪性リンパ腫・転移性脳腫瘍などの患者に対して問診票として、自己記入式の QOL 調査 (EORTC QLQ-C30/BN-20) とうつ病自己評価尺度 (つらさと指標の寒暖計) を使用してきた。これらの調査票をもとに、QOL スコア・うつ病スコアと病理像・臨床経過・分子生物学的特徴の相関を検討し、患者の病態・治療の問題点・予後因子などを QOL・うつ病の観点から明らかにすることを目的とする。

研究実施期間：：2013 年 05 月 31 日～2030 年 12 月 31 日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

自己記入式の QOL 調査 (EORTC QLQ-C30/BN-20)、うつ病自己評価尺度 (つらさと指標の寒暖計)、臨床情報：病理診断・経過・神経所見・認知機能テスト結果・術前／術後／経過観察中の MRI/CT/PET 画像情報・遺伝子発現結果など

## 4. 外部への試料・情報の提供・公表

診療情報などのプライバシーに関する情報は、匿名化された情報で、パスワードで守られたコンピューターにおいて厳重に保護・解析を行う。研究で得られたデータは個人情報が匿名化されており、パスワードにて保護されたデータとして管理し、研究グループのメンバーのみが解析できるように管理する。

以上により、匿名化個人識別番号を含むデータファイルと患者の対応表は別個に厳重に管理されるため、解析にあたっては終始患者個人を特定することなく研究が進められる。研究成果が将来発表される場合にも、個人を識別可能な情報については公表しない。

## 5. 研究組織

中央病院脳脊髄腫瘍科 科長 成田善孝  
中央病院脳脊髄腫瘍科 医長 大野誠・高橋雅道 医員 柳澤俊介・大澤祥  
特任研究員 宮原るり子  
がん研有明病院脳腫瘍外科 部長 宮北康二  
大阪大学医学部脳神経外科 沖田典子  
大阪国際がんセンター 脳神経外科部長 有田英之

## 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの  
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお  
申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科

成田善孝

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-3542-3815

研究責任者/研究代表者

国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科

成田善孝

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-3542-3815